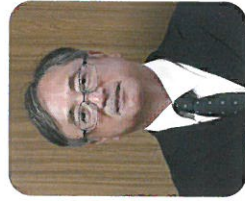


大阪府立園芸高等学校PTA新聞

編集 発行

大阪府立園芸高等学校PTA

〒563-0037
 大阪府池田市八王寺2-5-1
 URL <http://www.osaka-c.ed.jp/engei/>
 TEL 072-761-8830
 FAX 072-761-9295



校長 真鍋 政明

「勤労」「誠実」「創造」の校訓を糧に!

ご卒業おめでとうございます。
 皆さんは、各学科での農業学習を通じ、生命や自然の尊さに触れ、人と環境を大切に作る態度や感性を育んできました。また、研修旅行、体育祭、創立記念祭、クラブ活動、スーパーサイエンスハイスクールや農業クラブでの活動といった、園芸高校でしか味わえない経験により、それぞれが充実した3年間を過ごしました。本校の104年を迎える伝統の中で、オンリーワンの足跡を残してくれたことでしょう。

さて、社会人として活躍するために、「前に踏み出す力(アクション)」「考え抜く力(シンキング)」「チームで働く力(チームワーク)」の3つの力が必要であると言われますが、本校では、「勤労」「誠実」「創造」という3つの校訓を礎に教育を行っています。

まず「勤労」とは、社会人として自立していくために必要な、「豊かな労働観や職業観を身に付けること」で、すでに皆さんには備わっています。

そして「誠実」とは、「真心をもって人や物事に対すること」で、周囲から信頼を得ることにもつながります。皆さんは、実験・実習やクラブ活動などを通じ、思いやりを持ち、仲間を尊重する態度を育んでいます。

最後に「創造」とは、課題研究のプロジェクトなどでトレーニングを重ね、「新しいものを自分の考えや技術などで作り出す」ための経験を積んでいます。

卒業生の皆さん、園芸高校で培った「勤労」「誠実」「創造」を糧に、それぞれの目標に向かっての努力が花を咲かせ、大きな実を結ぶことを心からお祈りします。



PTA会長 田井中陽子

好奇心と夢を持って

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
 保護者の皆様におかれましては、感慨深い思いでこの時を迎えられたことと思います。

学校での3年間は人生の中ではほんの一握りの時間ですが、皆さんは勉強・実習・クラブなど様々な経験を通じて見違えるようになり成長されました。

不思議なもので、人は大人になるにつれて、持っていた夢を現実のどこかに閉じ込めがちになります。それはとてつもないことです。

これからそれぞれの道に進んでいく皆さんですが、無限の可能性に満ちていることを忘れず、10年経っても20年経っても好奇心と夢を持って突き進んでください。

これからもPTAは皆さんの活躍を応援し見守っています。PTA会員の皆様、本年もPTA活動にご協力いただきありがとうございます。

皆様のおかげでPTA活動を無事に行うことができました。今後ともご理解ご協力をよろしく願います。

PTA社会見学会

10月6日

10月6日、バスに乗り先生、PTAの方連、PTAOB会の皆さんと京都嵐山に行ってきました。

車内での前会長によるカラー診断に始まり、「八つ橋庵かけはし」にて、京菓子・練り切り細工の手作り体験での真剣そのものの顔、おぼんざいバイキングでの素敵な笑顔、バスの中のクイズ大会でははてな顔と、色々な顔のお父さん お母さんに会えました。

嵐山はあいにくの雨で、観光ができなかったのですが、集合写真を撮るときは雨が上がり、参加者の方の日頃の行いのおかげだと、驚き顔になった私でした。

文化委員の方々の心のこもった社会見学会でした。

本当にお疲れ様でした。



PTA園芸講習会

12月7日

12月7日、野菜の収穫を体験させて頂きました。
 キヤベツ、白ネギ、大根、人参。さすが園芸高校自慢の野菜たち、大きくしっかりしたものばかり。

キヤベツは、専用の刃物の使い方を生徒さんに教えてもらいながらおそそる収穫。力の入れ方が難しい。白ネギは土に包まれた部分が想像以上に深く、全身を使った作業。大根は二股、三股に別れているものもあり、選別前の収穫物を実感。人参は金時人参とあまりお目にかかれない黒人参。人参葉も美味しそうでしたが、育ちすぎで人間には向かないとのこと残念。
 歩く足が沈むくらい土がふかふかで、美味しい野菜を育てる土は触っても気持ちいい事を知りました。
 普段使わない筋肉を使い疲れましたが、貴重な経験をさせて頂きました。



家庭科特別授業

～いのちを育む～ (10月18日～11月5日)

今年で3年目となる親子交流授業が、10月18日～11月5日の間に、2年生186名、親子参加者277名、計463名で開催されました。

この交流授業は、子どもを産み育てることの意義や責任などについて学習する「親の役割・子育てを学ぶ」という、家庭科の授業の一環として実施されています。

はじめは、案内係の生徒たちのドキドキが伝わるほど、緊張感がありましたが、子どもを連れ駐輪に手間取るお母さんに気づき、自ら手伝いに行ったり、家庭科室までの道のりで、荷物持ちを進んでおこなうなど、園芸生の持ち前の優しさが感じられる空間が広がっていました。

受付では生徒手作りの特製名札でお出迎えです。高校に初めて来た子どもたちは、恐る恐る名札を選び部屋に入ります。

緊張している高校生とぎこちない対面をしますが、それもつかの間、素敵な笑顔でいっぱい空間へと変わっていきます。

終了時間が近づくと頃には「もっと一緒に遊びたい」「短かった」という生徒、「高校生との交流ってこんなに良いものだったんだ」と言ってくださる保護者の方々。そして何より、小さな子どもたちが伸び伸びと遊んでいる風景。

核家族が進む日本で、このように自分と立場の違う人たちと交流し、少しずつ心を寄せ合うことで、自分の心が温かくなるという貴重な体験をすることができました。

参加してくださった保護者の方、そして小さな子どもたちの心にも、生徒たちから優しい心のプレゼントができたのではないかと感じられました。



そば



パン



バイオサイエンス科棟展示・発表



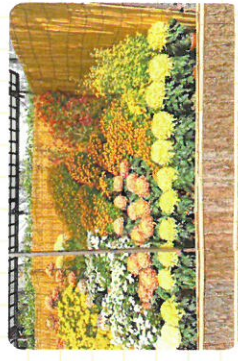
みそ



クッキー



屋外展示・発表



果物販売



花苗とコケリウム



PTA 販売



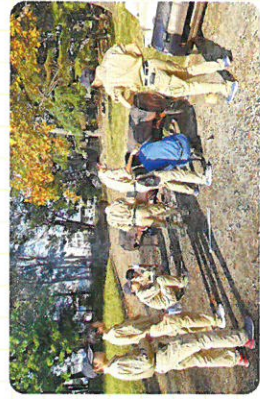
創立記念祭 PTA 収支報告

フランクフルト、焼きとり		
ぜんざい、煮物販売		
収入(売り上げ)	258,000円	
支出(材料費など)	110,534円	
収益	147,466円	

収益は学習奨励金へ寄付
ご協力ありがとうございました。

クラス展

みんなでワイワイ



豆乳投入前

天候にも恵まれ、
5千人以上のご来場を
いただきました。



正門



屋内展示・発表



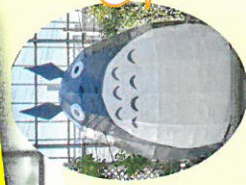
めだか



鉢物



会いにきてね〜



野菜販売



ビンゴ大会



アレンジメント販売





生徒の活躍



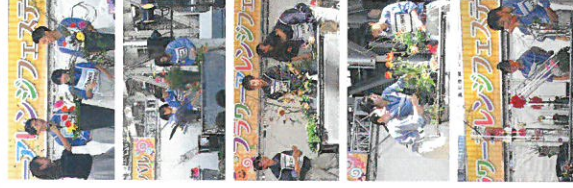
花高台戦2018 (6月16日・10月6日)

6月16日に三井アウトレットパーク大阪鶴見にて、フラーアレンジメントバトル予選会が開かれました。12チームのうち3チームが決勝に進出、そして敗者復活戦に3チームが挑めるというなかで、園芸高校から参加した全4チームのうち、決勝戦に2チーム、敗者復活戦に2チーム進出で、歓喜に包まれました。

想像をはるかに超えた、躍動感あるパフォーマンスに、新鮮な感覚と感動を味わうことができました。

決勝戦は10月6日、JF大阪駅5階「時空の広場」にて開催され、生徒たちは、魅力的な作品に仕上げられるように、創意工夫して挑みましたが、惜しくも準優勝でした。

このような会場でパフォーマンスを披露できたことは、参加した生徒たちの素敵な経験になったと思います。



第56回技能五輪全国大会(11月2日~5日)

11月2日~5日沖縄県で開催された全国大会に、本校から環境緑化科2名が造園部門に、フラーフアクトリ科3名がフラーフアクトリ科に大阪府代表として出場し、フラーフアクトリ科において、1名が敢闘賞を受賞しました。

この大会は各都道府県から選抜された原則23才以下の若者達が、技能レベルの日本一を競う大会で、一年に一度開催されているものです。

造園部門では、石積み、石張り、塀の施工、樹木や季節の草花の植栽、芝生張り等、2人一組でひとつの庭を完成させる内容で、和風・洋風の技法を競いました。評価レベルは世界水準並に高く、緊張もあってか入賞を逃してしまいました。

次年度は、実力を高めてチャレンジします。フラーフアクトリ科では、課題が4つあり、3つの課題のデザイン画作成、「花束」の制作、「ウエディングブuketとブートニア」の制作、「ウインドウディスプレイ」の制作でした。

花材の一部が学校で練習してきたものよりも短い、花径がいつもより大きいなど想定外のことがあるなかで、3人とも臨機応変に対応しながら制限時間内に作品を仕上げました。今年で園芸高校から、技能五輪フラーフアクトリ科への出場は3回目になりますが、初めての入賞で、生徒の今までやってきた努力が実り嬉しく思っております。

また、来年以降についても五輪出場を果たすことは当然の目標であり、敢闘賞以上の受賞をめざしていきたいと思っております。(顧問)



第69回日本学校農業クラブ全国大会報告(10月24日・25日)

10月24日(水)・25日(木)鹿児島県で開催された農業鑑定競技会で、5名の生徒が優秀賞に輝きました。

園芸の部では、楠博翔くん。食品の部では押井嶺翼くん、仲山蒼くんの2名。造園の部では、林朋輝くん、足立光陽くんの2名です。

「このことは、日頃の学習の大きな成果ですが、先生方の指導の賜物でもあります。来年は、さらに上の最優秀賞をめざし農業学習に取り組んでほしいものです。」

と、校長先生からも激励の言葉をいただきました。

また、平坂測量競技会には、測量部員4名がチーム(大阪代表)として出場しましたが、入賞できませんでした。

写真は、鹿児島アリーナでの大会です。大阪府連盟旗の入場は、本校生徒会長です。



万博ロハスフェスタ(11月4日)

11月4日(日)、万博公園で開催されたロハスフェスタ「北摂地手カラフェスタ」で販売実習を行いました。

フラーフアクトリ科からはコチヨウラン、ハイドロカルチャー、切花。

バイオサイエンス科からはパン(アンパン、ソーセージパン、ベーコンエビ)、ジャム(トマト、イチゴ)、キムチ(トマト、ナガイモ)を販売、特にトマトジャムはこの日の朝日新聞朝刊に掲載されたので人気商品に。

会場は圧倒されるほどの人、人、人、でしたが、ロハスフェスタの目的から、本校得意の大声による呼び込みもできず、他の販売物は苦戦。

それでもパンはなんと120個がほぼ完売し、朝9:30から夕方16:30まで立ちっぱなしでがんばった甲斐がありました。



第35回日本菊花全国大会W受賞(10月20日~11月23日)

全国の菊作り日本一決定戦が、国華園 和泉本店で開催されました。

園芸高校菊鉢物販が育てた、大菊三本仕立てが優秀賞、いろいろな菊を組み合わせた特作花壇が和泉市議会議長賞を受賞しました。

今年の花壇は宝船を制作しました。

しかし、11月5日の審査日にまだ開花しておらず少し残念でしたが、春からがんばって育ててきた菊を全国大会の場で大勢の人に見ていただき、しんどかったけど達成感がありました。来年はどんな花壇ができるか今から楽しみです。



保育園児とみかん狩り(11月12日)

記念祭の翌日、バイオサイエンス科2年(農産加工班)の課題研究で、天神保育園の園児たちをみかん狩りに招待しました。

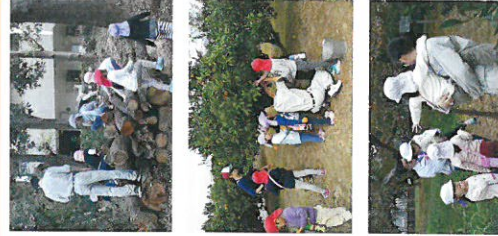
最初は、園児たちも僕たちも多少ごこちない距離感でしたが、みかんの取り方を説明して一緒に選り始めると、どんどん楽しそうな笑顔になりました。

上手にハサミで収穫、届かない高い枝は僕たちが取ったり、だっこで取ってもらったり。

「広い〜!!」「甘い!!」「あっこのほうが大きい」みかんの木の下で座って食べました。

終わって庭園に移動、その頃にはすっかり打ち解けてくれて、思い思いに遊びました。鬼ごっこ、どんぐり探し、枯れ枝集め、虫探し…。遊びの好みも個性があり、自分の小さい時の事を思い出しました。

短い時間でしたが楽しく、園児たちにも楽しんでもらえたかなと思えました。(生徒)



池田市農業祭(11月18日)箕面市農業祭(11月23日)

フラーフアクトリ科の生徒達が、両市の農業祭に出店し、園芸高校でとれた野菜や花などの販売を行いました。

池田市では、イチゴの苗が大人気で早いうちに完売しました。春になれば、美味しく食べて頂けるとしよう。

箕面市では、とても寒い1日でしたが、みかんを求めて、沢山の方々にお越し頂きました。一足早い、冬の恵みのお届けです!

